



苦 減 第 3 2 号

平成 22 年 9 月 22 日

苦小牧市廃棄物減量等推進審議会
会長 大水 喜八郎 様

苦小牧市長 岩倉 博

(環境衛生部ゼロごみ推進空減量対策課担当)



家庭ごみの有料化について（諮問）

本市では、平成 19 年 3 月に苦小牧市廃棄物減量等推進審議会より「有料化は新たな市民負担を伴うことから、それ以前にごみ減量化とリサイクルの推進に取り組むべき」との答申を受け、19 年度に『053 大作戦』、21 年度に『eco ライフ大作戦～053 ステージ 2～』を実施するなど、ごみ減量とリサイクル推進に対して、まちぐるみで取り組んできたところです。

平成 22 年 3 月には、循環型社会の構築を目指し、より一層のごみ減量やリサイクル推進に取り組むために「苦小牧市一般廃棄物処理基本計画」を策定し、今後 15 年間のごみ減量施策や資源品目の拡大によるリサイクルの推進方策等を示しております。本計画では、今後のごみ処理施設のあり方を考えた場合、大幅なごみ減量が必要であるため、家庭ごみの有料化を重点施策の一つとして挙げております。

つきましては、本市における家庭ごみの有料化について、ご審議いただきたく、ここに諮問いたします。